
日常と謎解き

玖渚

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日常と謎解き

【Nコード】

N4073BA

【作者名】

玖渚

【あらすじ】

日常に飽き飽きした主人公の唯。でも、逃げることな出来ない……

そんなある日、突如現れた謎の男…クラスメイトを救いたいなら俺が誰か当ててみる！

そんなの分かるかー！！

小説にあるようなベタな設定ですが、楽しんで貰えたら嬉しいです。

001（前書き）

駄文ですが、良ければ読んでください。

ずっと続いていく日常に出口はない。それは、出口の分からない
迷宮のよう……

生きていくことが辛いし苦痛で仕方がない……

早く迷宮から出ていきたい。

こんなことを考えているなんて誰が想像するだろうか。私は大人しく、無口で、悪く言えば人見知り

ラノベとかではお馴染みのタイプだと思う……

これは友達の懐^{りん}ちゃんの笑い話を聞きながらの回想です……

その間、約2分

人の話はちゃんと聞きましようね。私が言えることではないですが

……

「……ねっ そう思うよね。唯っ！」

わ、わわ……懐^{りん}ちゃん

「う、うん。そだね」

「……唯、話聞いてなかったね……。全くぼんやりさんだなあ」

「う、ごめん」

「まっ、唯だし。いいよ 聞きのがしたこと後悔させてやる……！」

こちょこちょ

「ちよつと待って！背中……」

こちょこちょこちょ

「あはははっ……あはははははっ……あべしっ」

「参ったか……！」

……

これはきついです……

そんなこんなで学校に到着した。懐^{りん}ちゃんのおかげで毎日楽しく

登校できる。

これからまた授業かー

今日もいつもと同じ平凡な一日になると思っていた
しかし、そんな思いは良くも悪くも裏切られた…

教室に行くと誰もいない 時刻は7:55、皆が同じタイミング
で遅刻することはまず…あり得ない

教室を間違えたかと確認するが『1 2』
のプレートが下がっている。

8:00 誰も来ない……

先生も… いつもなら教卓の前に立っているのに

「ねえ…… 懐ちゃん、これはおかしいよね？

あれっ！？ 懐ちゃん！？」

あわわ…… ずっと静かだと思ったら 懐ちゃんまでいないし！

これはありきたりすぎるベタすぎだよー？

職員室に行つて先生たちが欠席か聞いてくるか…

それから懐ちゃんが好きな屋上に行つて……っ！？

「………… 隙が多いな君はだが… 久しぶり、平沢唯… 会いたかった
ぞ」

振り向くとそこには男がいた。『オペラ座の怪人』の怪人みたいな

マスクを着けて……

年齢は私と同じくらいか

変なマントまで……

コスプレかな……？何で此处に！？

「あなた…誰？この学校の生徒じゃないでしょ」

「悲しいことを言うなよここは、みんなはどこ！？って言う所だろ」

つつこむ所はそこか！！

ベタすぎて嫌ですね…

「みんなはどこ？（先生含む）さつさと教えなさい」 結局聞く

あれ…今日の私は強気ですね。何でだろ？

「それは、俺が誰が当てることが出来れば教え……」

「はいっ！わかったよ」

「はやっ早すぎだろ！で答えは？」

一応聞くのか…

「バカな侵入者」

ボコツ頭に稲妻がつ

「い、痛っあああ！」

「名前じゃないし……誰かと聞かれば名前いうだろ…バカ」

（＃、皿、）バカにバカ呼ばわりされました。

ム力つきますね、全く

でも展開がベタすぎる

何回目だろ…

「わかった当てればいいんでしょう？それまで皆の安全は保証出来るのですか？それと無事なの」

「ああ、安全は保証するし、全員無事だ。もちろん黒崎懔も…むしろ異世界で楽しんでいるぞ　お前だけ来れなくて可哀想と言ったし」

……………懔ちゃん

いつの間に異世界に！？
いいなー　いやいや違う

「絶対、あんたが誰か当ててやる！-」

「おう、当ててみるがいい…平沢唯。ちなみにヒントは『思い出と記憶』だ。昔を覚えているかな……………唯は？じゃあな」

ヒント言つの！？

男はそれだけ言って霧の如く消えてしまった。
なんか霧吹きみたい

出だしが長かったな…

まずは自己紹介から……………私は平沢唯。高一です。
どうかよろしくお願いします。

今日は三学期の始業式でした。が事件が起こったため式には出てません。

私だけ出ても怪しいしね

それに、誰かが『一番最後に残った者が犯人だ』って言ってたし。

職員室に行つて事情を話して早退しよう

それで帰つて犯人の情報収集するし

この間約3分

「それじゃ、有言実行つてことで…まずは職員室に行こう」

「ちょっと待て…」

……………？……………っ！

「……………貴方は…！？」

001 (後書き)

謎の男が二人も!!

最後の人は男の人のつもりですが、どんな人物かはまだ秘密です。
決めてないだけ…

ではありがとうございました

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4073ba/>

日常と謎解き

2012年1月10日20時01分発行